

安全データシート

EC 規制 No 1272/2008 準拠

SDS 番号: SDSFG0003
最新改定日: 2017 年 5 月 22 日 (Rev.2)

FastGene™ LB 培地カプセル

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 製品

製品区分: 混合物
製品名: FastGene™ LB 培地カプセル
製品番号: NE-L2720-100

1.2 製品の推奨用途と使用上の制限

専門ユーザー向け研究試験及び製品開発用試薬

1.3 供給者の会社情報

日本ジェネティクス株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階
電話番号: 03-3813-0961
ファックス番号: 03-3813-0962

1.4 緊急時連絡先

電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分)
E メール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質又は混合物の分類

有害性なし

2.2 GHS ラベル要素

有害性なし

危険有害性情報

有害性なし

使用上の注意

有害性なし

2.3 その他の危険有害性

有害性なし

3. 組成及び成分情報

3.1 物質

混合物

3.2 混合物

濃度	製品名	CAS No.	EC/EINECS
5.17%	トリス塩酸	1185-53-1	214-684-5
37.7%	トリプトン	91079-40-2	293-428-4
37.7%	塩化ナトリウム	7647-14-5	231-598-3
18.9%	酵母エキス	8013-01-2	232-387-9
0.53%	トリス	77-86-1	201-064-4

4. 応急措置

4.1 応急措置情報

皮膚に付着した場合	直ちに大量の石鹼水で洗浄する。
眼に入った場合	15分間流水で眼を洗浄する。
飲みこんだ場合	水で口を洗浄する。 医師と相談すること。
吸引した場合	新鮮な空気を吸わせ、何か症状がある場合医師と相談すること。

4.2 最も重要な症状と影響

接触部位に軽微な刺激性がある場合がある。
粘膜及び上気道に刺激性がある場合がある。

4.3 医師に対する特別な注意事項

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	水スプレー 二酸化炭素 耐アルコール泡消火剤 粉末消火剤
不適切な消火剤	なし

5.2 製品特有の危険有害性

燃焼中有害煙霧が発生することがある。

5.3 消火を行う者への注意

自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項

個人用保護具の詳細に関しては本書 8.を参照のこと。

6.2 環境に対する注意事項

排水溝及び河川に流出させないこと。

6.3 方法及び材料

密閉可能でラベル表示した回収廃棄用容器に適切な方法で移す。

6.4 二次的危険性の防止

直ちに漏出物を洗浄する。
適切な個人用保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 人体に対する注意事項

安全な取扱い	作業場ではかならず十分に換気すること。 粉塵が発生するおそれがある場所では局所排気装置を使用すること。
爆発及び火災からの保護	通常の防災対策をとること。

7.2 混触危険物質などの安全保管条件

保管危険性の管理	冷所でよく換気された場所で保管のこと。
保管管理	容器は密閉すること。
健全性維持	特別な必要事項なし
その他注意事項	特になし

7.3 特定最終用途

最終用途は完全には決まっていない。
本製品は専門家の研究開発にのみ使用される。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

データなし

8.2 暴露管理

一般的保護及び衛生対策	取扱い時には、標準の予防措置を着実に実行すること。
技術的手段	作業場ではかならず十分に換気すること。

眼/顔の保護具	安全眼鏡。 国立労働安全研究所(米国)あるいは EN166 (EU)などの適正な政府基準のもとに試験、認証された眼の保護具を使用すること。
手の保護具	ゴム手袋を着用して取扱うこと。 手袋は、製品使用前に検査すること。 本製品と皮膚を接触させないよう、手袋を正しく取り外すこと(手袋の外側に触れないこと)。 使用後汚染された手袋は、適用法令及び優良試験基準に準じ廃棄すること。 手を洗い、乾かすこと。 選択した保護手袋は、EU 指令 89/686/EEC 及びこの指令から派生した規格 EN 374 の仕様を満たすこと。
呼吸器の保護具	不快なレベルの粉塵から保護する場合、N95 タイプ(米国)か P1 タイプ(EN 143)の粉塵マスクを使用すること。 国立労働安全研究所(米国)あるいは欧州標準化委員会(EU)などの適正な政府基準の基に試験、認証されたマスク及び部品を使用すること。
皮膚の保護具	身体の保護具は、種類別、危険物質の濃度及び量、もしくは特定の作業場に関して選択すること。 保護具の型式は、特定作業場の危険物質濃度及び量に従い選択すること
他の個人用保護具の注意事項	データなし

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的および化学的性質

外観(物理的状態)	ゼラチンカプセル内で黄褐色固体
臭い	データなし
臭気閾値	データなし
pH	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
火炎燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼あるいは爆発限界上下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度	データなし
水への溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし

9.2 その他の情報

特になし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

異常な反応性なし

10.2 安定性

正常状態で安定

10.3 危険有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

湿気

10.5 混触危険物質

湿気

10.6 危険有害な分解生成物

燃焼中有害性煙霧が発生する。

11. 有害性情報

11.1 情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	情報なし
呼吸器/皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	情報なし
特定標的臓器毒性 - 反復暴露	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

11.2 その他

知り得る限り、本製品の急性及び慢性毒性は完全には知られていない。
有害性は完全には調査されていない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

情報なし

12.2 残留性と分解性

生分解性

12.3 生物蓄積性

情報なし

12.4 土壌中の移動性

情報なし

12.5 難分解性毒性及び極難分解性評価結果

情報なし

12.6 他の有害影響

情報なし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄方法

残余廃棄物	適正な廃棄については国、地方自治体あるいは国内規制の指導に従うこと。
汚染容器及び包装	公的規制に従い廃棄すること。 未使用製品として廃棄すること。

14. 輸送情報

航空輸送(ICA0)

1. 国連番号:	
2. 国連出荷名:	有害性なし
3. 輸送時の危険性分類:	サブクラス
4. 容器等級:	
5. 環境有害性:	
6. 使用者のための特別予防措置:	
7. パラ積み輸送:	

陸上輸送(ADR)

1. 国連番号:	
2. 国連出荷名:	有害性なし
3. 輸送時の危険性分類:	サブクラス
4. 容器等級:	
5. 環境有害性:	
6. 使用者のための特別予防措置:	
7. パラ積み輸送:	

海上輸送 (IMDG)

1. 国連番号:	
2. 国連出荷名:	有害性なし
3. 輸送時の危険性分類:	サブクラス
4. 容器等級:	
5. 環境有害性:	
6. 使用者のための特別予防措置:	
7. パラ積み輸送:	

15. 適用法令

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高压ガス保安法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法)	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物

16. その他情報

16.1 その他情報

ADR: 欧州危険物国際道路輸送協定
RID: 欧州危険物国際鉄道輸送規則
IMDG: 国際海上危険物規定
IATA: 国際航空運送協会
IATA-DGR: 国際航空運送協会危険物規則書
ICAO: 国際民間航空機関
ICAO-TI: 国際民間航空機関技術指針
GHS: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
CAS: ケミカルアブストラクツサービス

16.2 欧州指令 67/548/EEC に準ずる関連リスクフレーズ

16.3 免責事項

本書記載の製品は、研究開発用のみで人体あるいは動物に使用することを目的としない。本製品自体は、ほとんどの場合、毒物学的、生態学的及び物理化学的性質について完全には決められていないので丁寧に取り扱いねばならず、必ず適正な熟練者により適切な条件で取り扱いねばならない。責任ある当事者は、本 SDS を当事者が集めた情報と併用して使用するものとし、適合性について独立した判断を下し、必ず正しく使用し従業員の健康と安全を守らねばならない。本情報は、本製品の保証なく供給されるものであり、本 SDS に従わず、あるいは他の製品又はプロセスと併用し、使用する場合すべて使用者の責任である。